

Vivienne's Diary 2015 年 3 月

今では、私たちは独占資本主義が環境と金融問題を引き起こし、影響を及ぼしていると理解しています。私は多くの人が知らない資本主義の実体について、私がマルクス主義者の残りと呼んでいる人達も含めて述べることにしました。一つずつを繋ぎ合わせ文章にしました。私は**共産主義者のマニフェスト**と、バートランド・ラッセル著書の**自由と組織**のマルクスの章を読んでいます。

YOU HAVE NOTHING TO LOSE BUT YOUR CHAINS

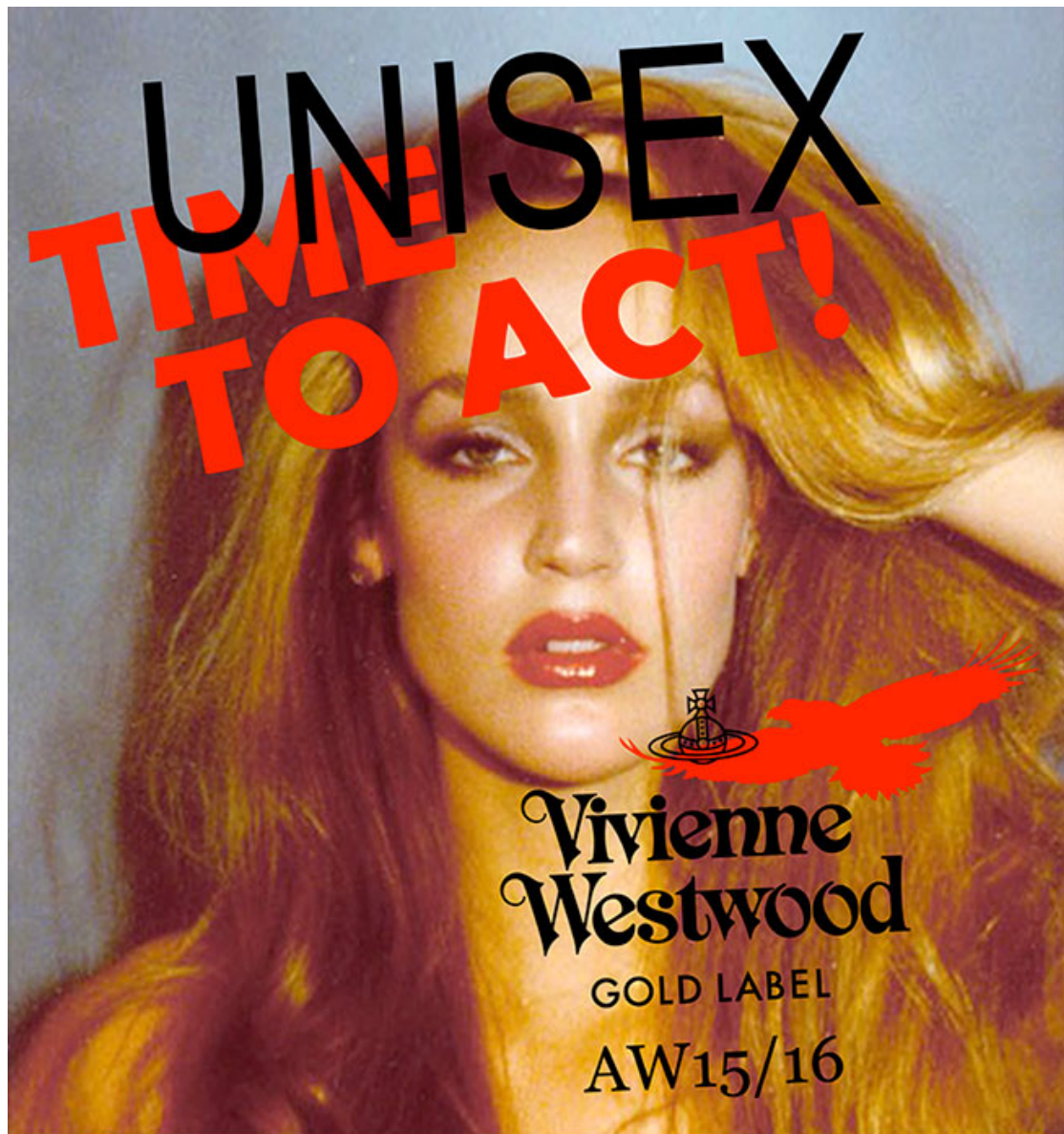
失う物は何も無い。我々は皆繋がっているのだ。

3/3 (火) : 私は毎月第一火曜日にジュリアン・アサンジに会いに行くようにしています。もっと頻繁に会いに行きたいのですが、彼が忙しいのは知っています。ベンがジュリアンに美味しい日本食を届けています。ヴェジタリアンで、オーガニックで、月に数回トモカが作ってくれるものです。ベンが私のランチ用にも同じ物を少し持って来てくれるのですが、美味しいのです。

ジュリアンは、私とクライメイト・レヴォリューションが緑の党を支援していることは良いことだと思っています。彼は、パブリック・ディベートの方が選挙よりもっと重要だと言います。その言葉が即座に私を腑に落としてくれました。ソーシャル・メディアはどうなのかしら。これらの主要政党に統治されることへの反発は、津波のように大きくなっています。それは良いことです。ジュリアンは、もし緑の党がその反対勢力の一部になれば、国会にディベートを持って行くことができるだろうと言います。ジュリアンはスコットランド国民党に興味をそそられています。私は、彼らが惨事から離れて情勢を変えることができさえすればね、言います。

それでは、イングランドにいる人達は何ができるでしょうか。緑の党に投票して、皆さんの力を、真実にアクセス可能なソーシャル・メディアの力に付加して、本当の意見を形作り、嘘をかき消しましょう。デモに行きましょう。フラッキングを止めることから始めましょう。自分に情報を与え、色んな人と話しましょう。

私たち、特にシンシアは、私たちのデモ「*Time to Act (行動する時)*」をオーガナイズするために、NGO と共に働いてきました。私たちはロンドンでのマーチ用にポスターをデザインしたり、パリでのゴールド・レーベル用にT シャツをデザインしたりしました。マーチが行なわれるのと同じ時に、私たちのモデルがパリのショーでキャットウォークを歩いているのです。私はパリからビデオメッセージを送るつもりです。



スクエア T シャツで、その美しさを見せるジェリー・ホール

3/4 (水) : ユーロスターで (保守党が独占企業に売ってしまいました。保守党がやる不道德なバーゲンセールの一つです) ゴールド・レーベルショーの準備のためパリへ。



インディペンデントのアレキサンダー・ファリーがアンドレアスと私は、二人でどのように仕事をしているのか聞きに来ました。アレキサンダーはインタビューの内容を切り取ってしか使っていないので、ここに回答を載せませうね。これをお読みになったら、私たちが先週まで何をしてきたか、どのようにコレクションを作ったのか、皆さんも検討がつくと思います。

インディペンデント・マガジン 2/21 (土) 刊行

どれくらいの期間、お二人は一緒に仕事をされているのですか。

V: 来年が私たちの銀婚式だと思うから、それより長い期間一緒に仕事をしていますね。私がウィーンで教師をしている時にアンドレアスと出会いました。それからアンドレアスはインターンシップでロンドンの私のスタジオに来たのよ。

A: ロンドンに滞在して、そのままオーストリアに帰りませんでした。

お二人のデザインは、コラボワークとしてどのようにできるのですか。コレクションを一緒に作る過程を教えてください。

A：コレクションに取りかかる時に、まず僕は出来る限り多くの可能性を探求します。それから必要な物を取り、この作業は僕たちみんなを狂わせてしまうのですが。僕は物理的には、視覚的に印象深い物を集めます。時々ファイルにもして、最終的に必要になるまで孵化させます。僕たちは大体それぞれ違う仕事に取り組んでいて、ヴィヴィアンは普段はニットウェアから始めます。そして最終的に二人が取り組んでいる要素を一緒にします。

V：私たちの壁や窓は写真や、本やインターネットからのコピーでいっぱいです。絨毯の写真や、サン・ローラン、もじゃもじゃ頭の女の子、ボンデージ（アンドレアスはこれを隠れたチャンネルから輪ゴムを通して、それにより体が固定されるドレスにしました。）。アンドレアスは変わったロゴや、シンボル、冷蔵庫につけるマグネットタイプのグラフィックを集めて、Tシャツのデザイン用にそれぞれを重ねて行きました。私たちはそれを「意味のないTシャツ」と呼んでいます。とっても魅力的で興味深く見えるものなのだけだね。

アンドレアスがコレクションの要素として集めた物の中には、リサイクルショップで買ってきた伝統的な草でできたフラのスカートもあります。それはウエスト周りがロープで結ばれていて、重さが付加されるようになっています。インスピレーションとして、この美しい服をどのように使うか。アンドレアスは刺繍屋さんにラフィアヤシ、シルクのタッセル、そしてフリンジのサンプルを注文しました。昨日、それらを床に置いて、どのように使うか、決めようとしていたところです。そこで最終的に素晴らしいアイディアが出て来ました。レザーのベルトをヒップの下の方に付けて、異なった長さ、または素材のフリンジが、ヒップの高さに結びつけておけるようにするという。現実的な解決策です。ベルトは簡単に縛れますし、ヒップの高さに「草」があれば、太って見えることもありませんから。これは二人で解決しなければならませんでした。また、そこに至るまで、あらゆる可能なアイディアを出して行きました。それはユニセックスなのですね、次のゴールド・レーベルコレクションのテーマなのですが。テーマがあるのは素晴らしいのですが、もしなければ、何かしら手探りでコレクションをスタートさせなければなりません。始めて、取り次いで、作って、チームとチェックするということです。その間にテーマがやって来ます。時には最終段階で出てくることもありますよ。ニットウェアは要素がさほどないから簡単です。私は1、2個糸を選んで、それらを別々に使います。二つの異なった色や、手触りが違う糸を一緒にするのが大好きなのです。だってそうすれば今まで思いもしなかった新しい手触りや色を発見できるでしょう。コンピューターみたいなもので、ニットも二進数なのですね。編み目は二つしかなくて、一つはループが後ろへ、もう一つは前へ、そうやって二つのループを一緒にすることで、穴を作ったり、衣類全体の形を作ったりすることができます。編み目をねじって色を混ぜることもできるわね。靴下やタイツに表れている様々な効果を思い出してみてください。厳しい時代だった第二次世界大戦後、人は極上のレースのウェディングドレスやツイードのスーツを編み物で作ったのですよ。

二人でデザインすることの良い点は何ですか。

V：私はアンドレアスとデザインをするのが大好きなのよね。世界中の偉大な男性デザイナーがそうであるように、アンドレアスは女性を台の上に飾ってくれます。

私の近しい友人達は知的です。アンドレアスは私をびっくりさせてくれます。彼は直接的な経験で物事を知っているようなの。彼は極めた視覚の持ち主よ。（現実的な例を挙げると、建物が建てられたのが何年であるか、見ればすぐに分かります。）また、音楽に対する吸収力も素晴らしいわ。面倒くさがって何を知っているのかわざわざ言いたがらないけど、何かを知っていたら、そのことを考えた時だけ私に教えてくれますね。私は文学の人。（私の服は全部キャラクターがあって、物語を伝えています。）私は頭の中で物事を解決することができるのだけど、いつもそれができるわけではありません。例えば、小さな四角い布のサンプルが、生地が全部届いた時には思い通りには振る舞ってくれないかもしれないし。アンドレアスは生地を待っている間分別がつかなくなるのね。「ペンキなしに色を塗ることはできない」って言うのよ。

アンドレアスのアイディアはとても大きいのです。学生時代の彼に初めて会った時、自分が作ったドレスを最高の状態でディスプレイするために、女の子ははしごを昇らなければいけませんでした。彼のアイディアをまとめるのを私が手伝いました。私は錨（いかり）で、アンドレアスが私のアイディアを固定して、新しい成功に向けてそれらを組み合わせていきます。

A：僕たち二人は、本当にお互いの強さを引き合わせて仕事をしています。お互いがいなかったら何もできないような気がするのです。彼女が何かアイディアを思いつくことができるのは本当に素晴らしいです。毎日素晴らしいですよ。ヴィヴィアンには独創的な考えがあって、それが作動し続けています。僕たちは多くの点において正反対なのですが、その反対性に引かれ合い、そこに深い魅力があるのです。僕はただ、彼女そのもの、彼女の振る舞いや、世界の見方が好きなのです。

難しいときもありますか。

V：彼は完璧主義者なのよ。

A：僕は絶対に満足しません。でも時間がなくなってしまうから、途中で止めなければなりません。

1990 年代と 2000 年代初頭に素晴らしい仕立ての、とてもよく構築された服、オート・クチュールとしての太鼓判を押された服を作った後に、なぜ DIY（自分で作る）のアイディアに変わったのですか。また、それが今のコレクションにどのように現れていますか。

V: 私はいつも DIY を使ってきましたよ。例えば自分で穴を空けるとか。

私の好きなルックの一つは、17 世紀の女性肖像画です。ネル・グウィンや誰かの愛人がギリシャ神話に見えるようなふりをして、だけどまるでベッドから出てきたばかりのようにシフトドレスや下着を着けていて、ストールは真っ青なサテンのベッドカバーで。そして私は男性のジャケット、多分兵隊のジャケットね、その下は、ナイトドレスというルックも好きです。ボクサーショーツをタイツの上に履くのや、難破船にいたみたいに、ちょっとだけ帆布を腰の周りに巻いて、小さなヒストリカルジャケットを着るのも好きですね。そして民族や歴史、標準のカッティング方や長方形や三角形からなるカット、くねくね曲がったカット、そういったカットをミックスしますね。アンドレアスは民族衣装が好きです。彼は今もなお、民族衣装を着られるタイロール出身で、どんなサイズや形にも合っていて、とても威厳があるのよ。シャネルはシャネル・ジャケットをその民族衣装から取り入れました。それから私たちは異性装も好きですね。

A: クチュールに関しては、サン・ローランですね！僕は若い頃からサン・ローランの仕事に魅了されてきました。だって本当に深いですから。他には、蝶ネクタイ、必要な物がただそこにあります。彼と一緒に、世界中の全ての蝶ネクタイを感じて、そのドレスには蝶ネクタイというのが典型的なアイディアなのです。あとは彼の女性達も好きですね。彼女達はとてとてもとってもセクシーなのです。低俗になることなく、シンプルで。ドレスにはちょっとだけレースやリボンがあって。それをちょっとだけ元に戻さなければならぬ。そして残りは全部、何も言うことなく、彼が女性達のためにするのです。

V: アンドレアスはかつて、サン・ローランはこの惑星上に降り立った最もクリエイティブな人だと言ったことがあるわね。

A: だけどももちろん一人だけじゃないですよ。ヴァトー、僕の神様だよ！この間ルーベンスの展覧会で彼の何かを見たのですが。男が女にキスをしていて、彼が彼女をつかむ方法。それを描いて色を塗るのですよ！

V: 私とアンドレアスが一緒に仕事をし始めた時、彼が初めにしたことの一つは、スタチュー・オヴ・リバティーのコルセットを持って来て、大きな、大きな、ドレスを作ることでした。基礎なしにそんなことはできません。ディオールが「基礎が全てだ」と言ったようにね。キャットウォークの下半分までもある裾の長いドレスも作りましたね。シルクのラジミールを着た三人のワンダーウーマン達で最高潮に達して、数メートルもの長さよ。

V&A の展覧会の中心でそれらを見られました。黄色はクリスティー・サーリントン、黒のフリンジでモーヴ色はナオミ、ダイヤモンドがついたオレンジに薫のペチコートはタチアナ・パティッツ。アンドレアスはスーパーモデルと仕事をするのが好きでしたね。そして私はアンドレアスと仕事をするのが好きなのよ。彼は女性達を台の上に飾ってくれるから、彼女達が女神のように見えるのよ。

言っておいた方が良くと思うことがあるのだけど、アンドレアスこそが、私たちのチームと最も近い距離で働いている人だし、二つのショーがもうすぐあるから、今とても忙しいでしょう、それで彼は邪魔が入ってこのインタビューを主に私に残すことになると思います。そうじゃなかったら、もっとたくさん答えるかもしれないわ。彼も私もどちらも親分肌なのよね。

とにかく、クチュールはアンドレアスにまで至り、今までに見たこともない究極に仕立てられたシルエットを彼が達成させようとなりました。彼の技術は独学ですが、技術的訓練を受けた3人のドイツ人のパターンカッターとも仕事をしていました。この訓練はイギリスにはもうありませんが、ドイツではまだ教えられているそうです。

ゴールド・レーベルは今もなおクチュール風で、仕立てられています、工場生産用に改造されています。例えば、ハンドローリングした縁の代わりに、縁をそのまま裂いたり、ピンをつけて手で縫うよりは、カッティングの原理に基づいてドレープを収めたりします。

A: 僕たちはいつもユニセックスの服に興味を持ってきました。僕は女性がそれを着てよく見えたり、またその逆でよく見えたりするのを見るととても嬉しいのです。

あなたは環境問題に関する思いを頻繁に口にされますが、ファッションという、人工の廃退の作りつけのサイクルにどのように調和させるのですか。

A: もしも人が美しいものだけ買うならば、それがまず初めのことになるでしょう。しかしそうであっても、地球を第一に置かなければなりません。調和の中に生きているのですから。

V: 気候変動を緊急に止めなければいけないと気付いた時、私たちのビジネスは、アンドレアスや私のコントロールを超えた所で広がって欲しくはないと悟りました。それで、私たちは質と量の戦いにフォーカスを置いています。

たとえ私たちが、パリに1店舗、NYに1店舗と、2店舗ショップをオープンさせるとしても、それらもその計画の一部です。明確な階級組織を持つ有機的なサイズに限定された会社は、効率の良い会社で、自分たちが好きなものだけを作り、無駄がありません。私は、これがさらにサステイナブルになるためのベースになると考えています。私たちのモットーは、「買う量を減らし、よく選んで、長持ちさせる」です。

ワールズ・エンドのオープニング・セレモニーで、昔のパンクのスローガンと、+5degreesやDIYのようなスローガンとをコラボをされましたが、環境に配慮した抗議をすることを、21世紀のパンクの形と見ているのでしょうか。

A : 僕たちはワールズ・エンドに関連のあるアーカイヴを選ぶことで、オープニング・セレモニーに関わってきたのですが、それが DIY やユニセックスの服のアイディアと重なることにもなりました。僕たちはこのルックを「アーバン・ゲリラ」、反逆者、政治的なスローガンと戯れ、独創的で、服が声明書である、そのように作りたかったのです。

V : 服がポリティカルになるのであれば、服にはスローガンが必要だと理解しています。そしてそうですね、私にとってのパンクはポリティカルでした。私たちが生きている世界は死と破壊によって機能しています。そして私が思うパンクは、このようなけしからんリーダーは必要ないということでした。だから私はアナーキーを主張したのです。若いパンク達は大人が出す価値全てを拒否しました。それから私はそれでは縦乗りして言うてのけるには十分でないと気付きました。転覆がアイディアを必要としていて、アイディアは文化から現れるのです。文化は皆さんに、ルーツとなりそこから自身のヴィジョンを築き上げられる錨を与えてくれます。もし私たちに真の文化があるならば、私たちは環境破壊の危機には居ないでしょう。今、グラフィックやスローガンを通して、若い人達にプロパガンダが文化に置き換えられたことを伝えています。消費して吸い取るプロパガンダ、破壊が止まらないのです！文化は私たちの世界や過去と繋がっています。（読書、アート・ギャラリーや劇場に行く、など）皆さんが取り入れたものを取り出すのです。申し訳ないことにこれを全部説明する時間がないわ。だけど、もし気候変動を止めたくないのならば、間もなく全ての生物の大量絶滅の危機になるでしょうね。数年前のインタビューを読むと、ジェームズ・ラブロックと言う科学者が、今世紀の終わりにまでに、人類は 10 億人しか残っていないと思うと言っています。それで私のプライオリティーは、気候変動を止めるということになりました。初めに私がしたことは、2020 年までに熱帯雨林を守ろうとしているクールアースというチャリティーをサポートすることでした。NGO などによって、多くのことがなされています。インターネットを通して人は知るようですね。

個人、思考と美の表現として服はどのように重要になりますか。

A : 人間は自分に対していつもロマンティックなアイディアがあります。服はこれを探し出す手助けをしてくれます。自分自身に忠実であればあるほど、自身がよりよく見えるものです。

もし世界が明日終わるとしたら、何を覚えておいてもらいたいですか。

V&A : 世界が終わらないことを望むけど。

V : 私が今までにしたことで、一番、そして最も有益なことは「資本主義の終焉」という解析をしたことですね。

パリのショールームで、キャスティングをしているサビーナに会います。彼女は非常に優れたスタイリストです。（全部試してみるまで絶対に満足しません）ショーの手伝いをしてくれているのですが、多くのことを彼女に任せることができます。服はほとんど全部届いています。服が届くか届かないかで全てが変わってくるのです。服が遅れて届く時は、ショーの前夜に仕事をする事になってしまいます。今回はそんなことは起きないでしょう。



3/7（土）：キャットウォークの音楽はダイ・ハージャングスのライブ。このコレクションは何か特別よ！ユニセックス、同じサイズのスーツ（ハダースフィールド産でサビル・ロー仕立て）が女性にフィットします。内側にボタンで留められた肩パットがついたボレロのように、男性にもフィットします（モデルサイズ）。袖とズボンがとても短くなって。（格好いい！）また、同じドレスが男女共にフィットします。どちらも王様、または女王様のように見えます。メイクアップのアイデアも好きでした。パッツとマーカスが花嫁と花婿になりました。



リーボ、ヴィヴィアン・スウィス 16 歳、私の名前から付けられたそうよ。アンドレアス

グウェンドリン・クリスティーがショーを飾りました。ショーの後すぐに続けて彼女とリーボの写真を広告用にユルゲン・テラーが撮りました。終わったわ！みんなが満足していました。



夕食時には、友人と、特にパズとマーカスと話したいと思っていましたが、彼らはとても礼儀正しく思慮深い。二人とも私がグウェンドリンとの会話に盛り上がっているのを見て、そのまま帰ってしまいました。私たちはシェークスピアについて話していました。



ガエル・マランドローン

3/9（月）：若いフランス人の友人で、以前は私たちのフィティング用のモデルで、今は女優のガエルと、彼女の女優友達マリーに会いました。二人の女性のショーというアイデアが私にはあって、そのショーの名前は「初心者のための文化」なのですが、それについて話すためでした。二人と一緒にそれに取りかかったら、どのように機能するのか皆さんにもお知らせしますね。ガエラが大好きなので、あと、今会ったばかりのマリーも、パワフルで知的な力となってくれるので、今私はこのことを述べておきます。

3/10（火）：もう一つか二つ、友人と楽しい時間を過ごしました。その他には

QvQ（質対量）を考慮した大事な話し合いが私たちのアジア部門で働いている人達と行なわれました。一人のディレクターが日本へ戻ってしまう前に話し合いを続けて行く必要がありました。これが金曜日にイギリスでということになりました。それでフランスで計画していた束の間の休暇を早く切り上げるつもりです。

リヨン駅。私にはとてもロマンティックに思えます。フランスを南に旅して行く。**私の英語教育はフランスの歴史と文化と、深く繋がっています。**私たちは、ピレネー山脈のふもとのカルカソンヌにあり、スペイン国境近くのペルピニャンへ行きます。目的地へ近付くにつれて、列車は各駅で止まっていきます。その名前。ニームからモンペリエ。私たちは海沿いに居て、海岸にはフラミンゴが居ます。ナルボンヌ。タイザーがレンタカーで迎えに来てくれます。私たちはパデルヌにあるタイザーのお母様の小さな家に泊まるのです。片田舎で、お店がありません。それなので毎週トラックが農産物を運んで来ましたよという放送がスピーカーからされる時が、食料品を蓄えるチャンスです。

私たちはただただそこが大好きでした。家はとても原始的で、小さな道路から木を拾って、火を点けます。その道路は深い傾斜の丘沿いにくねくね曲がり、パデルヌ城へと続きます。タイザーが食事の用意をして、湯たんぽをベッドに入れてくれていました。

3/11（水）：天候は輝かしく、真っ青です。丸1日取れるのがたった1日しかなかったのも、ペルペルテューズ城に行きました。一つの丘となった石灰岩の内側に埋まっているように城が建てられており、非常にドラマティックな城です。この城はフランスとスペインの国境に沿って立っています。



高速道路の進入路から。どこで岩が終わってどこから城が始まるのか見分けるのは困難です。

今までにこんな石灰岩の地形を見たことがありません。遠方を見ると雪山のふもとにあり、深い緑色の低木にも覆われています。低木は様々な種類のオークのうちの一つではないかしら。川が美しくぐねぐねと曲がり、飛び込んで泳げる深いプールもあります。滝があり、夏には多くの人が集まり、岩で一日中過ごし、ピクニックやおしゃべりをそこでします。タイザーは毎夏家族とここに来ていたそうです。ヒッピーがここには住んでいます。美味しいワインにオーガニックマーケット。眺望の間から目にする作物は、葡萄と花がついたアーモンドの木。

タイザーの隣人のアンは、古代ローマ人がここにはいたと教えてくれました。古代民達は、いつでも水の近くに住んでいました。彼らは掘削し、メッキをし、他に何だったか思い出せません。それ以前の狩猟採集民はどのように生き残ったのでしょうか。こんなことを考えたこともありませんでした。彼らは私たちが知らないことをたくさん知っていたに違いありません。この物珍しい古い景色が、私にそのようなことを考えさせてくれました。彼らは どこに 生き残ったのかしら。ここには野生のイノシシがいて、小川では何十匹というカエルがいて、ただ浮かんでいるか交尾しているか。

3/12（木）：空港へ向かう途中にネアンデルタール人のほら穴へと続く標識を通り過ぎました。時間がなくて行けなかったわ。ホモサピエンスが 45 千

年前にヨーロッパへとやってくる前に、ネアンデルタール人は 20 万年もの間ここにいました。そしてそれが起きた 5 千年の間に、ネアンデルタール人はいなくなってしまいました。私たち人間の方が食糧を獲るのにはより賢かったというのが理論です。最近、推定 3 万年前の犬の骨が発見されました。その骨はオオカミに類似しているようですが、短い鼻が、私たちの祖先がオオカミから犬を手なずけて餌を与えていたことを示唆しているとのこと。私たちが、犬（けむくじらのマンモス！）と狩りに出ていたならば、それって致命的だったでしょうね。

ナショナル・ジオグラフィック（2015 年 1 月号）で興味深い記事を見つけました。原始人の形成するアートは一度一カ所で続き、それ以降は止まり、二度と繰り返されることがなかったという記事です。

So how do we explain these apparently sporadic flare-ups of creativity? One hypothesis is that the cause was not a new kind of person but a greater density of people, with spikes in population sparking contact between groups, which accelerated the spread of innovative ideas from one mind to another, creating a kind of collective brain. Symbols would have helped cement this collective brain together. When populations again fell below critical mass, groups became isolated, leaving new ideas nowhere to go. What innovations had been established withered and died.

Such theories are difficult to prove—the past holds its secrets close.

それでは、明らかに散在するこれらのぱっと燃え上がったような創造性を私たちはどのように説明付けるのでしょうか。一つの仮説は、新人類というのが原因ではなく、人々がグループ間での接触をする際に、人口密度が大きくなり、それが一つの考えからまた別の考えを産み、革新的なアイディアが広まるのを促進し、一種の総体的な脳を作ったということです。シンボルがこの総体的な脳を固める手助けをしたのでしょうか。人口がまた臨界量を下回った時、グループは孤立し、新しいアイディアはどこへ行くこともなく残されました。確立されただけの新しい物事は衰え、死にました。

そのような理論を証明するのは難しいです。過去はその秘密を閉ざしたままです。



Their beauty whipsaws your sense of time. One moment you are anchored in the present, observing coolly. The next you are seeing the paintings as if all other art—all civilization—has yet to exist.

これらの美しさは、あなたが持つ時間の感覚を二つに切ってくれます。あなたが現在に根ざした瞬間、冷たく観察しています。次に他のアートや文明を見るように、あなたがその絵を見る時は、それはまだ存在していないのです。

3/18 (水) : アムネスティが活動家としての私をフィルムに収めるため、インタビューに来ました。レイチェル・コリーのことを思い出しました。彼女はまだ 23 歳と若く、イスラエルがアラブの土地を占拠するのを止めさせるグループに参加するため、パレスチナへと行きました。彼女はその時の経験を日記に書き、それが劇化されたのを私は観ました。彼女はこう始めました。「私の名前はレイチェル・コリー。」パレスチナにはほんの 2、3 週間しか居なかったそうです。彼女はイスラエル軍のブルドーザーの前に殺されるまで立ちはだかりました。 <http://books.wwnorton.com/books/Let-Me-Stand-Alone/>

3/20（金）：アンドレアスはイタリアに居ます。それで私は彼のチケットを息子のジョーにあげました。バービカンで、ピアニストのエフゲニー・キーシンです。彼は初めにベートーヴェンのソナタを弾きました。ドラマティックでとても早く、彼について行くのがやっとです。ベートーヴェンは自分が賢いと自覚していましたね。彼の音は見せびらかすような音で、自分自身に繰り返すことによってポイントを叩き込んでいるようなのです。その音は、クリノリンをまとった魅力的なヴィクトリア時代の淑女達が、自己を意識して田舎に感謝している絵が取り出されているようです。次はプロコフィエフ。これは素晴らしかった。もう一度聴きたかったです。私自身、十分に集中していなかったか、自身を音にゆだねることをしなかったかのどちらかです。分かりません。私が知っていたこと以外に、そこには素晴らしいアートの高潔さがありました。途中休憩の後にはショパンでした。これは私を夢中にさせてくれました。まるでキーシンが音楽を所有していて、皆さんにそれをくれたみたいでした。皆さんと音楽が会話をしているのです。私は今完全に開かれました。次はリスト。喜びに満ちてうっとりさせられ、キーシンと無限の世界へと旅をしました。



エフゲニー・キーシン

3/21（土）：緑の党のミーティングに参加しました。4月の日記で、彼らと一緒に働いている私の経験を皆さんにお伝えするつもりです。

3/25（水）：タクシーの運転手のアーティスト、マークから、彼のタクシーの中で私のインタビューをしたいと声がかかりました。[動画](#)があります。彼はこの世界で起きていることと本当に関わりを持っていて、嘆かわしい政治、私たちを殺している金融構造を暴いてやろうと私のように死に物狂いになっています。帰り際に、もう！彼ったらとってもかわいらしい笑顔くれたわ。

3/26 (木) : モニュメントの横にあるイーストチープの聖マーガレット・パッテン教会で夜のイベントに。ホストはジェニー・ティラマニです。彼女と、私の友人のサンティーナ・レヴィは自身の仕事に身を捧げています。彼女達はコスチュームの歴史家で、研究者で、キュレーターです。ジャネット・アーノルドの仕事を展開させ、プロモートし、本にしています。ジャネット・アーノルド、彼女の本の図解から、歴史的なカットを発見できてとても嬉しいです。サンティーナは主にレースの専門家で、ジェニーはグローブ座のコスチュームデザイナーでした。二人はザ・スクール・オブ・ヒストリカル・ドレス (歴史的なドレスの学校) という自身の学校を設立しました。今回の行事は、その学校によってプロデュースされた本のローンチでした。アランとヴァネッサ・ホプキンスによる履物。写真を撮り、レイアウトをしたヴァネッサとアランと話をしました。レイアウトは今日刊行されるどんな本とも違ったものになっています。アランは言いました。「デザイナーを雇う時は、空白部分にお金を払うことになる。」と。何もないのです。しかし本当に違っているのは彼がそこに注ぎ込んだ愛です。学校は、歴史的な服のアーカイブを公開展示するための家を探しています。そしてアンドレアスと私は、ファッションに興味がある人全員に、この学校を支援するよう言うつもりです。とても大事なことで、一般の寄付金が頼りです。



ワインを飲みながら、宝のようなレンの教会の建築学への素晴らしい知識と情熱を持った人達のスピーチに耳を傾けました。いかにもジェニーだわね。彼女が触れる物は全て精巧で最良なものなのです。終わりに、彼女が私に何か言いたいことはないかと聞いてくれました。私はただ彼女にお礼を言いました。アンドレアスが、この本は今まで見た靴の本のなかでも一番だと割り込んで言ってきました。

ジェニーはこの本をアマゾンでは売りたくないそうです。それでアマゾンのサイトでは、この本はありませんと言っているそうですが、[こちら](https://shop.theschoolofhistoricaldress.org.uk/?product=footwear)で購入可能です。 <https://shop.theschoolofhistoricaldress.org.uk/?product=footwear>



A pair of girl's black leather shoes, c.1900. HC.F-12.82-6
They have a double bar with two-button fastening and a $\frac{3}{4}$ " stacked leather heel. The trim at the throat is missing.



A pair of child's brown leather sandals, 1910-1940. HC.F-0.103
They have flat heels and were made by Carleys Ltd., a shoemaking company in Leeds.



A pair of child's white suede sandals, 1910-1930. HC.F-0.106
They have $\frac{3}{4}$ " stacked leather heels.



Gavin Gray, 1911.



Sylvia Cole as a bridesmaid, 1919.

**IF You Have
Enough Sympathy
With Your Children**

to appreciate their love of freedom, you are doubtless wise enough to know that the ambition to run bare-foot is but a natural one with the youngster. Yet, by mingling judgment with sympathy, you know it is rarely practicable to permit the little ones to run about with unprotected feet. Let them try Phat Neal's "Moccasins" — the softest, most light, and pleasant foot-wear ever produced under modern civilised conditions. Made from the same leather as the Indians use for their Moccasins and having some of the elements of Moccasin construction, with all the little niceties of Phat Neal fittings.

No. 720 is stocked in Brown and Pearl Grey, the former from Indiana's size 4 to Ladies' size 2; the latter colour from Infants' size 4 to Ladies' size 2. Let us send you samples, post free.

Prices: 4-5, 4/6; 6-7, 5/-; 8-10, 5/6; 11-12, 6/3; 13-1, 6/11; 2, 7/11; 3-7 (Women's), 8/11. . .

Write to-day and ask also for a free price list. — Address all letters to Dept. 10, 120, Kensington High Street, W.

Daniel Neal
SHOES LIMITED

Convenient Fitting Rooms are at 120, Kensington High Street, W., and at the Embassy Food. W. 123, High Street, Putney, S.W.

PHAT NEAL

Advertisement in *Woman at Home*, 1912.

Daniel Neal was an established shoemaker by 1837, and in the 1870s his company developed the idea of children's shoes being made in the shape of children's feet instead of being miniature versions of adult shoes.